

令和5年度行政評価 施策評価シート (令和4年度実績)

施策名 医療体制の充実

施策コード 5040403

1. 施策の担当	
主管課	健康福祉部 健康推進課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第4章 すこやかで、ひとがつながり支え合うまちづくり(支え合い・福祉・健康)	第4節 健康・医療
	施策	医療体制の充実	

基本方針

- ・かかりつけの診療所や開業医(一次医療)と手術や入院治療を中心とする医療機関(二次医療)との連携の充実に努め、地域全体で継続的かつ効果的・効率的な医療を提供できる体制を推進します。
- ・母子医療や救急医療体制の維持に努め、安心して医療を受けられるための支援を行い、健康を支える環境づくりを推進します。

現況と課題

- ・身近でのかかりつけ医と手術や入院治療を中心とする医療機関(二次医療)との連携や地域全体での効果的・効率的な医療の提供が必要です。
- ・医師が偏在する中、安心して出産・子育てができる母子医療の確保が必要です。

施策目標

対象(誰を、何を、どこを)

市民及び医療圏住民

意図(どのような状態にしたいのか)

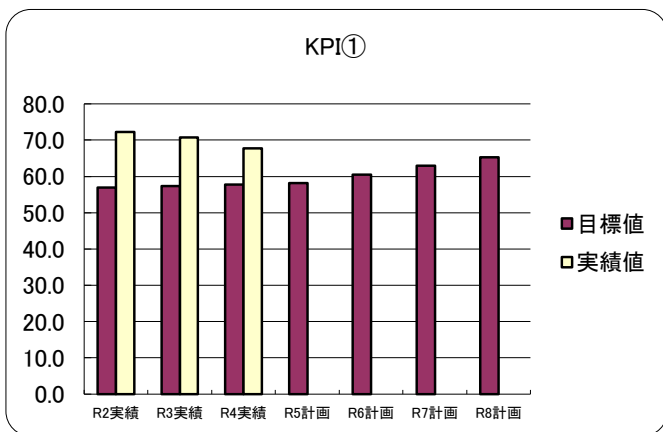
泉州南部の初期救急、二次救急、周産期医療体制の充実を図る。

3. 市民ニーズ							
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
満足度(偏差値)	64.5						
重要度(偏差値)	72.1						

4. 施策にかかるコスト								
	単位	R3決算	R4決算					
コストの内訳	人件費	千円	5,365	5,814				
	事業費		115,591	132,204				
	フルコスト		120,956	138,018				
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0				
	府支出金		0	0				
	市債		0	0				
	その他		52,513	73,791				
	一般財源1(=フルコスト-特定財源)		68,443	64,227				
	一般財源2(=直接事業費-特定財源)		63,078	58,413				

5. 施策の重要業績成果指標(KPI)							
① KPI 1		紹介率(りんくう総合医療センター)					
項目	R2実績	R3実績	R4実績	R5計画	R6計画	R7計画	R8計画
目標値	56.9	57.3	57.8	58.2	60.5	62.9	65.3
実績値	72.2	70.8	67.7				
達成度	126.89	123.56	117.13				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
紹介率は、他の病院又は診療所からの紹介でりんくう総合医療センターを受診した患者の割合を示す指標。この指標により地域と連携した医療体制が充実されているかが分かる。		りんくう総合医療センターの中期計画を踏まえて算定。令和元年度に法改正により算定基準が変更(救急搬送で来院された患者のうち診療情報提供書を持参した患者数を除外するなど)された。			様々な情報の共有を図り、地域病院、診療所との連携を強化している。新型コロナウイルス感染症の診療体制確保のため予約外診察の制限及び患者自身の診察自粛により初診患者数が減少したが、R2年度、R3年度、R4年度いずれもR元年度と比較し紹介患者の割合は上回っている。		

図表



6. 施策の事後評価

	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 4	りんくう総合医療センターは財務や医療職の人材確保など運営に課題はあるものの、その解決に取り組みながら、医療水準の向上に努めている。休日夜間診療については、特に小児科医の確保が困難になってきているが、各機関の協力を得ながら、規定時間の診療を確保できたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりR2年度、R3年度を受診者は激減したが、R4年度は微増した。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 3	必要性の高い施策であると考えられ、救急を含めた地域医療体制が確保された。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	休日夜間診療においては、医師不足により現状の運営体制を維持するのも困難な状況にあるが、医師会、近隣の中核病院等とも連携を図り、医師確保していく必要がある。H26年度にりんくうタウンに泉州南部初期急病センターを移設。一次・二次・三次救急医療の体制強化を図っていく。
	合計点	(10点中) 10点	
	総合評価	A	りんくう総合医療センターは、厳しい経営環境に置かれながらも、地域医療の拠点として、地域の医療機関等と連携強化を図り、高度医療を提供している。また、泉州南部初期急病センターは、地域の初期救急拠点としての役割を担うが、協力医師の確保、平日夜間の診療開始が課題であり、今後体制強化に努めていかなければならない。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)	A	施策をより適正に評価できる新たな指標の追加等を検討すること。	
三次評価 (理事者による評価)	A	施策をより適正に評価できる新たな指標の追加等を検討すること。	

7. 施策を構成する事務事業

	事務事業		R4年度決算額			R5年度予算	一次評価
	予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源		
1	01027100	地域医療推進事業	318	59,562	59,562	0	B
2	01027110	泉州医療圏二次救急医療対策事業	159	4,173	4,173	0	B
3	01083070	初期急病センター運営事業	3,186	62,334	-11,438	0	B
4	01083080	初期急病センター施設管理事業	2,151	6,135	6,116	0	B
合計			5,814	132,204	58,413	0	